

花鳥風月・短歌

おめでとう孫社会人

懐かしく初の言葉はカアカとマンマ

大橋 桃代

ちらほらと梅の花咲いた庭先に

仄かな匂い春も間近に

佐伯 定則

子や孫と二礼二拍手一礼す

三年ぶりの参拝の列

徳永 誠一

この寒さ荒鋤の田の土手に立ち

一望眺め春を待ちをり

塗堀 良子

大銀杏少し黄色くなった様

日に日に芽が伸び風は春

加藤
イサ子

行方不明者発見の防災放送聞き取れて

他人事でも胸なでおろし

小林
泰子

感動や生れて初の石鎚の

山脈みな金銀光り

石井
トシ子

兄弟妹皆に別れて我一人

天命まちつつ無言の祈り

一色
ノブ